



学校だより

3月号



令和6年2月29日
横浜市立能見台南小学校

← 学校ホームページ
QRコード

地域のおかげで

校長 榊原 一紀

3月19日には卒業証書授与式が行われます。卒業を迎える6年生の子どもたちは、学校の最高学年として、学校生活のあらゆる場面でみんなのリーダーとして活躍してくれました。中学校生活でも、学んだことを生かして頑張ってくれることを期待しています。

今月6日の雪の日には、お昼過ぎに校外委員会や地域の方が、雪の積もり具合や滑りやすい場所の情報をくださいました。また、次の日は、正門からバス通りの坂道を「子どもたちが転ばないように」と早い時間から雪かきをしてくださる地域の方がいました。

能見台南小学校は、たくさんの方に支えられています。一昨年まで学援隊隊長で、20年以上安全のために見守ってくださっている難波さんが横浜市教育委員会から長年の功績を称えて、今月4日に表彰されることになりました。1月には、本校に「ふるさと納税」での寄付があったことの連絡を受けました。きっとPTAで紹介してくださったおかげでしょう。地域学校協働本部が中心となって行われている読み聞かせや図書ボランティア、小さな音楽会の活動も、子どもたちの楽しみになっています。本当にありがとうございます。3月13日に環境栽培委員会の児童が中心となって感謝の会を開く準備をしています。コロナ禍で地域が学校に入りにくくなっていましたが、少しずつ戻ってきてうれしく思っています。今後ともよろしく願っています。

最後になりましたが、この1年間の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただきました保護者の皆様にも深くお礼申し上げます。ありがとうございました。

第4回学校運営協議会の記録（2月15日）

この会では、本年度の学校評価アンケート集計結果を見て、ご感想やご意見をいただきました。話題はタブレット端末とあいさつが中心となりました。

- ・ルールを守ってタブレット端末を使っていると回答している児童が多いことはよい。今後の持ち帰りに対してはネット依存症の心配がある。
- ・タブレットは道具であることから使わないという選択は難しい。学校と家庭が協力して進めていくことが大切。
- ・区PTAの研修会でLINEの研修を企業にお願いしたことがあった。出張授業などで啓発するのもよいのでは。
- ・進んであいさつをしているという質問に保護者の3割が否定的な回答をしていることが気になる。
- ・まちであいさつをするのは怖いこともある。ただ、あいさつをしても返してこない子は気になる。
- ・あいさつに関しては、家庭での取り組みの様子も非常に関係している。

令和6年度 変わります。よりよい教育活動の推進、児童の安全、教職員の働き方改革などの面から検討し、5年生の宿泊体験学習の行き先、全校遠足の時期、年度の途中での下校時刻変更など、来年度変更することがあります。詳しくは中面でご確認ください。